

子供が欲しい!

全世界にショックを与えた人工授精!
そのすべてを映画史上初めて描いて
一大センセーションを起した問題作!!

ケート・オマラ
ポール・フリーマン
エドワード・ジュド
ボブ・シャーマン

製作■ジェシー・ボジェル
監督■ジェリー・オハラ
撮影■ケン・ホッジス
医学監修■ローランド・ケメラ博士(西ドイツ)

WHOSE CHILD AM I?



〈カラー作品〉
イギリス・西ドイツ合作

人工授精

東京第一フィルム株式会社



＜カラー作品＞

人工授精

スタッフ
 脚本・監督……………ジェリー・オハラ
 撮影……………ケン・ホッジス
 医学監修……………ローランド・ケメラ博士
 キャスト
 バーバラ……………ケート・オマラ
 ポール……………ポール・フリーマン
 ベンソン博士……………エドワード・ジュド

授精”。
 ひとつはそれを、「愛のない作爲的性交であり、生命の冒瀆だ。」とも言う。
 しかし、人間は必ずしも、愛に満ちた男と女の行為により、望まれてこの世に生を受けたわけではない。生まれても育ててくれない

親。生まれる前に抹殺してしまう。親のなんと多いことか。
 そして、子を盗む親。子を買う親もある。ならば、人工授精は一つの光明として、その存在理由があるのかも知れない。
 だが、この「人工授精」にもかなりの問題点があるのは当然だ。この映画は、その問題点を、赤裸々にえぐり出している。
 生命をみつめるこれからの課題が、今、私達の前にむき出しに投げ出されたのだ。

賛否両論うずまくなかでいよいよ公開される——。
 “人工授精”!!
 ■カメラがあなたにこの問題を訴えかける!

公開以来、全世界で世論を捲き起した問題作!

「女体の神秘」の西ドイツと、「THE BODY」のイギリス映画界が、お互いにその総力を結集して、今度は人類の医学上の大問題である「人工授精」というテーマに取り組んで、全世界にセンセーショナルな話題を投げかけた衝撃のフィルムである。

“人工授精”といっても、日本ではまだまだあまり大幅に普及していないが、アメリカでは早くからこれが行われ、すでに年間1万人も人工授精児が誕生しているという。

医学の進歩か、それとも生命の冒瀆かと、世界的な話題になっているこの人工授精をさまざまな角度からとりあげ、そこに生じる諸問題を徹底追求した画期的な映画。

“人工授精”とは子宝に恵れない女性や夫婦が、それは時として、夫の側に能力がない場合（無精子、不能など）だが、どうしても子供が欲しいときに夫以外の男性の精子をもらいうけ、人工的に妊娠させることをいう。言葉でいうと簡単だが、そこには数多くの問題がふくまれている。その問題点と、人工授精の仕組み、受精から出産まで、人工授精のすべてを解明して、その是非を究明している。

人工授精にかけては世界的権威の、ある一博士のもとを訪れるさまざまな人々。その中から、四つのケースを選びだし、そこにおける諸問題を鋭く世に問うという形で描かれていく。

例えば、子供のいない若夫婦の場合。夫が無精子のため、人工授精で子供を作ることにするが、他人の精子を人工的に注入したのでは失敗。そのため、“自然性交”という、精子提供者との直接セックスによる方法をとる。その結果、うまい具合に妊娠はするが、あとにさまざまな問題が残るといふ例。

次に、男とセックスしたこのくないレズの女性が、人工授精で子供を作る話。そして、人工授精を望む白人女性が、病院側の手違いのため、黒人精子をそれと気付かずもらい、妊娠してしまうという例。

また、年の差の開いた男女が結婚しようとするが、二人は実は親子だったというショッキングな例も描かれる。これは、年上の男性が、かつてある女性に精液を提供したことがあり、それによって生まれた女の子とは知らず、結婚しようとするもので、本人同士は全く分らないのだが、実は親子だったという悲劇である。

これらの例を克明に描きながら、精液提供者が自慰によって放出した精液を、注射器に入れ、それを女性の膣に注入するシーンや、厳粛な出産シーン、そして幻想的なセックスシーンなどを折りまぜて、人工授精の実態を余すところなく捉えている。

監督は俊鋭ジェリー・オハラ。彼はこの映画の製作に当って、その道の権威者に徹底的に取材し、自ら脚本も書いている。撮影はケン・ホッジス。医学監修には「女体の神秘」で有名な西ドイツのローランド・ケメラ博士があたっている。

なお、出演者にはケート・オマラ、ポール・フリーマン、エドワード・ジュドの他、ドラマに迫真性を持たせるため、無名の俳優が地の演技で出演している。

原名「私は誰の子供なの？」



WHOSE CHILD AM I?

イギリス・西ドイツ合作 TOKYO FILM
 東京第一フィルム提供

新春! 話題のロードショー 渋谷宝塚 (461) 8779